

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦評用紙

け男子 ・女子 1 回単 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名	総得点	チーム名	総得点
県立松橋	17	校成学園女子	39
7	23		
10	16		
—			
—			
—			
7mTC			

校成のスローオフ。校成8番阿部のまわり込んでのミドルシュートで試合は始まった。序盤、校成

の高いDFに松橋は攻めあぐね、一方校成はポスト、サイドとあらゆるシュートで得点した。

前半6分過ぎ、松橋に待望の1点目が入った。その後も個人スキルの高い校成が確実に得点し、前半

10分で10-1となった。松橋は校成のミスから力強く速攻に向かうが、得点を伸ばせず。校成は

自由自在にパスを展開し、8番阿部のカットイン、サイド、5番古川のサイド、3番須田のインター

セプトからの速攻など点差を広げていった。松橋は必死にDF同士声をかけ守るが校成のボールは止

まらず得点。松橋6番石本は校成の強いDFをかわし得点するも、前半23-7、校成リードで終了した。

後半エース吉田をベンチスタートさせた校成、前半5分は点数が動かなかった。松橋11番中西はサイ

ドシュートで連続得点、校成の反則による二人退場のチャンスをものにし追い上げた。しかし層の

厚い校成は最後まで攻撃の手を休めず、着実に点数を重ねた。ボールをつなぎ1点を取ろうとする松

橋、相手の反則を誘うが校成のDFは厚く、39-17で校成が勝利した。

2016年 3月 24日

記載者氏名 弦巻 美和

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

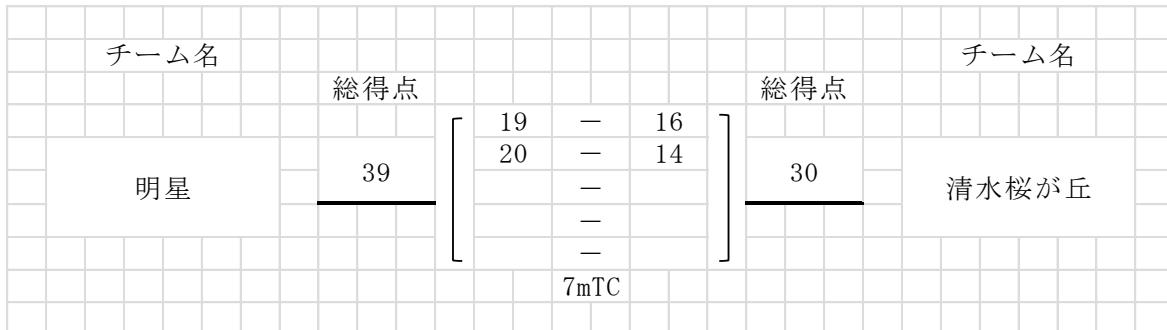
試合番号

戦評用紙

男お

男子・女子 1回戦・準々決勝・準決勝・決勝

会場 神戸市立中央体育館 コート



桜が丘スローオフで試合開始。開始早々、清水のパスミスから明星6番大木のシュートで試合が動き始める。3-3DFを敷き上へ上へとプレッシャーをかける明星に対し、攻撃の糸口が掴めずミスが続く桜が丘。明星は8番藤井、7番櫻井らがパスカットからの速攻で最大6点差をつける。5分56秒、桜が丘タイムアウトも退場者を出す苦しい展開。しかし、19分を過ぎたところで、明星3-3DFの中に割って入る桜が丘の攻撃にリズムが出始め、21分16秒からの14番鈴木の3連続得点などで追い上げる。キーパー小坂のファインセーブなど、桜が丘に流れが変わり前半が終了した。

後半も明星6番大木のシュートでスタート。前半の終盤から勢いを増してきた桜が丘もDFを割る攻撃やロングパスなど縦への攻撃から応戦。得点の取り合いとなつたが、桜が丘の2度の退場などから明星へと流れは再度戻り、24分35秒、明星6番大木のシュートでこの試合最大得点差9となり、桜が丘を振り切った。

平成28年3月24日

記載者氏名 沖野 勝洋